

緑の風 FAX版



JR 東労組ホームページ

NO. 95 2020年5月1日 JR東労組

5月1日は「メーデー」



「メーデー」とは、1日8時間労働制を求めて1986年5月1日にアメリカで統一ストライキを行ったことが起源とされ、労働者の日として、国際的にも労働者の権利を訴える日です。

日本では、1920年に初めて第1回のメーデーが開催され、上野公園に約1万人が集まったそうです。今年は、それからちょうど100年になりますが、今年は、新型コロナウイルス感染拡大の影響により、メーデーの集会は各地で中止となっています。4月29日に開催予定だった、連合のメーデー中央大会は、インターネットでメッセージの動画配信を行い、神津会長は働く人の連帯を呼びかけ、感染拡大は雇用に深刻な影響を及ぼし、解雇や雇い止めが増えていることに対して、政府にセーフティネットの構築を求めました。

現在、新型コロナウイルスの感染拡大によって、日々不安を抱えながら業務を担い、自宅待機や在宅勤務、時差出勤など、様々な対応・対策を行っている仲間がいます。通常時ではない今だからこそ、労働時間の管理をきちんと行い、健康を守り、安全で安心できる環境を作っていかなければなりません。

「メーデー」の歴史を見ても、いつの時代も、労働者の権利を守るのは、労働者自身の運動がなければなりません。

JR東労組は「新生JR東労組運動宣言」に基づき、労働者である組合員と共に運動をつくり出していきます。



JR東労組の仲間とともに 働きやすい職場をつくっていきましょう！